

令和8年9月6日執行

最上町長選挙 選挙公報

最上町選挙管理委員会

40年以上の行政経験。
副町長として見てきた、最上町の現実。
町民の皆さんとの対話で
得た力を、まちの将来に
つなげます。

5つの約束に共通する
すべての土台は

「人づくり」

挑戦を応援する。

帰ってくる人を迎える。

人が育ち、帰ってくる町へ。

子どもが育つ。若者が挑戦する。人がつながる。
そして、帰ってくる。そんな最上町をつくります。

- 1 子どもが育ち、若者が輝く町
人づくり／新しい学校づくり／おかえり応援
- 2 挑戦する人を応援する町
農業・産業振興／観光・交流／起業・挑戦支援
- 3 命と安心を守る町
地域医療／地域交通／防災・支え合い
- 4 人が集い、にぎわう町
まちなか再生／交流／地域活動
- 5 将来に責任を持つ町政
役場改革／財源確保／選択と集中

私が約束する 5つのこと



いとう
伊藤まさる

1959年2月4日生(67歳)
最上町横川出身、現在は向町3区に居住

私は、**聴くだけで終わらせない。**
声を聴く。決める。動く。実現する。 **対話から実行へ!**

「人・地域を大切に」を信条に。

若者が帰ってきたくなる、未来に誇れるものがみへ！
子どもたちにつなぐまちづくりを全力で推進してまいります。

社会的弱者への手厚い支援を

3 高齢者・福祉対策
暮らしの足・買い物確保
デマンドバスの利便性向上による「買い物弱者」対策
高齢者の孤立を防ぐ対策
高齢者世帯向け住宅の整備や同居家族への助成
雪でも快適な生活を
社会的弱者へ向けた問除雪支援拡充
生きがい・地域包括ケア
本当に困っている方へ届く地域包括ケアの強化

産み育てやすい環境づくりを

2 子育て・教育の充実
結婚につながるきっかけづくり
都市部との連携によるマッチングイベント等の開催
産前産後のサポートと経済的負担の軽減
出産祝い金の拡充、多子世帯へのさらなる支援
子どもの感性を引き出す居場所づくり
屋内型の多世代型交流施設の創設、図書館の整備
教育環境の充実
気候変動や人口減少に対応した迅速な環境整備

若者の定住につながる支援を

1 産業振興・定住促進
持続可能な農業へ
継承につながる支援・基盤整備事業の推進
観光資源を活かし誘客を増やす
温泉旅館や土産店への事業継承補助金創設
まちなかの賑わい創出
空き店舗を活用した中心市街地の活性化・起業支援
移住・定住の受け皿づくり
空き家バンクの強化とリノベーション費用の補助拡充



かん
菅たかし

菅孝プロフィール

昭和37年、最上町東法田生まれ。昭和56年に
県立新庄北高等学校向町分校を卒業。最上町青
少年育成町民会議元会長。現在、県立新庄北高
等学校最上校同窓会会長、最上地域農業士会会
長、山形県指導農業士会副会長を務める。

全ての公約に関わる陸羽東線の早期復旧、国道47号線
みちのくウエストラインの早期実現を目指します！

子育て・高齢者支援の財源に当てるため町長報酬を10%カットします！

一票で

笑顔あふれる まちづくり

最上町長選挙の投票日は、

9月6日(日)です。

※投票日は、**9月6日**です。

※投票できる時間は、**午前7時から午後7時**までです。

※**入場券を忘れずに**

投票所にお越しの際は、入場券を忘れずにお持ちください。

もし、入場券を忘れたり、入場券が配られなかったときは、投票所の受付係に申し出れば投票することができます。

※**代理投票ができます。**

字が書けないときは、投票所で申し出れば「代理投票」の方法で投票できますので、棄権しないでください。

※**期日前投票の制度があります。**

投票日に仕事や、やむを得ない用務等のため不在になり、投票所に行けない人は、前もって投票できます。詳しいことは選挙管理委員会にお問い合わせください。

※**投票用紙の書き方**

投票用紙には、候補者の氏名をひとりだけ書き、そのほかのことはいっさい書かないようにしてください。